

Maxwell[®] RSC Blood DNA Kit

(カタログ番号 AS1400) 簡易マニュアル

ご用意いただくもの

- ボルテックスミキサー
- ピペットマン (P-200、P-1000)とそれらのチップ
- 56℃にセットしたヒーティングブロック
- 1.5ml遠心チューブ

血液からのDNA抽出の手順

EDTA, ACD, ヘパリンのいずれの採血管もご利用いただけます。

ただし、抽出したDNAを以降の実験にご利用になる場合、EDTA採血管を推奨します。

1. 血液サンプルを少なくとも5分間、室温で撹拌する(ローテーターなど利用する)。
2. 1.5ml遠心チューブに、30μlのProteinase Kを加える。
3. 最大300μlまでの血液サンプルを加える。
4. 300μlのLysis Bufferを加える。
5. 10秒間のボルテックスにより十分に撹拌する。
6. 56℃に設定したヒーティングブロックに、サンプル/試薬を加えた1.5ml遠心チューブをセットし、20分間インキュベーションを行う。この間に、次の『カートリッジの準備』を行う。

カートリッジの準備

1. 検体数分のカートリッジをMaxwell® RSC/CSC Deck Trayに立て、順にアルミシールを剥がす。

カートリッジの両端がカチッというまで、しっかりとセットする

注意：サンプル数が16より少ない場合には、Maxwell® RSC/CSC Deck Trayの中央部分をお使いください。

2. 同数のElution Tubeをセットし、50µlのElution Bufferを加える。

Elution Bufferは30～100µlを加えることができます。ただし、30µlの場合、磁性ビーズの持ち込みの割合が高くなることが予想されるため、**標準として50µl Elution Bufferでの溶出をお勧めします。**

Elution Tubeのフタは絶対に閉めないでください。



3. カートリッジのウェル8に、プランジャーを置く。
4. 56℃のインキュベーションが完了したサンプル全量を、カートリッジのウェル1に添加する。
ウェル1は最も大きなウェルです。カートリッジラベルに一番近く、Elution tubeからは最も遠い位置にあります。
5. Maxwell RSC Instrumentを起動し、Startから『Blood DNA／AS1400』を選択する。
6. Maxwell® RSC/CSC Deck Trayを、Maxwell® RSC本体にセットし、精製操作をスタートする。

精製終了後の操作

1. Maxwell RSC® Instrumentのドアを開け、Elution Tubeのフタを閉める。
2. Maxwell® RSC/CSC Deck Trayを取り出し、Elution Tubeを適切に保管する。
3. Maxwell RSC® Instrumentのドアを閉める。カートリッジとプランジャーを廃棄する。